

◆ 今年度各分掌の目標・方策

分掌	具体的目標	具体的方策
中学一年	・基本的な生活習慣の確立を図り、生活改善・向上を目指す。	・あいさつ、返事、時間や提出物の厳守、身だしなみを整える等、適時指導する。 ・班会議→班長会議→学級会のサイクルで話し合いを行い、学校生活を振り返り、生活向上の方策を話し合い、自治活動を体験させる。
	・主体的な学習態度と基礎学力の定着を図る。	・家庭学習の習慣化を目指し、学習記録の点検や助言、励ましを行う。 ・各種検定試験の受検（漢検、数検、英検をそれぞれ1回）を呼びかける。 ・授業や週末課題への取組の大切さを理解させる。
	・自他の良さを認め、互いに高め合う集団を育成する。	・ソーシャルスキルトレーニングや構成的グループエンカウンターの手法を用い、個性や立場を尊重し合う望ましい人間関係づくりを促進する。 ・一日の反省や月の反省、教育相談を通し、生徒の思いを把握する。 ・生徒会活動や係活動を通し、責任感と集団に貢献する態度を身に付ける。
中学二年	・基本的な生活習慣の確立を図るとともに、中堅学年としての自覚を育てる。	・あいさつ、返事がしっかりできる。時間や提出物の厳守、身だしなみを整える等の徹底を図る。 ・生徒会活動や係活動を通し、責任感と集団に貢献する態度を身に付ける。また、後輩への丁寧な指導や先輩への積極的な支援意識を持たせる。
	・主体的な学習態度と基礎学力の定着を図る。	・毎日課題や週末課題を確実に取り組ませ（点検→助言、励ましなど）家庭学習の習慣化を目指す。 ・各種検定試験（漢検、数検、英検をそれぞれ1回）を受検させる。 ・様々な取組（学習強調週間、チャイム着席、漢字テストなど）を学級全体で頑張らせる。
	・自他の良さを認め、互いに高め合う集団の育成と、自分たちで動ける集団作りを目指す。	・ソーシャルスキルトレーニングや構成的グループエンカウンターの手法を用い、個性や立場を尊重し合う望ましい人間関係づくりを促進する。 ・Thanks buddy（自他の良さを認め合う取組）を年2回実施する。 ・班会議→班長会議→学級会のサイクルで話し合いを行う。その上で、学校生活を振り返り、生活向上の方策を話し合い、自治活動を体験させる。
中学三年	・最高学年としての自覚を持ち、リーダーシップを発揮できる生徒を育成する。	・服装・挨拶・返事が後輩の模範となるよう、日頃から自覚を持つように支援する。 ・合同宿泊研修の各係や生徒会行事等で準備・運営に積極的に取り組み、その活動を通して後輩をリードしようとする意識を持つよう支援する。
	・基礎学力の定着を図るとともに、応用力を養成する。	・1・2年次の学習を振り返り、苦手な分野を克服させる。 →新研究テキストによる毎日課題の実施と点検 →朝学習プリントの実施 ・ベネッセテストの実施と弱点研究 ・週末課題にしっかり取り組み、学習意欲の向上を図る。 ・漢字テストの取組強化→前日に前回不合格生徒補習 ・家庭学習を習慣化させるために、家庭学習ノートを点検し、強く支援する。
	・相手の気持ちを考えて行動し、協力し合うことのできる生徒を養成する。	・自分の意見を伝えるとともに、他の意見や考えに耳を傾け、協調性を養っていけるよう、学級や班での話し合い活動を援助する。 →エンカウンターの実施 ・宿泊研修や、生徒会行事などを通して、クラスが一丸となって取り組むことができるよう、お互いに助け合い、協力し合う心を育てる。

分掌	具 体 的 目 標	具 体 的 方 策
高 校 一 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生としての基本的な生活習慣および学習習慣を確立させる。 ・ 集団生活における自己のあり方を認識させ、ともに生きる素晴らしさを実感させる。 ・ 自らの将来について関心を持たせ、個性や能力を伸長させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通ルールおよびマナーを遵守させ、登下校時の無事故無違反を目指す。 ・ オリエンテーション合宿を行い、適切な学習方法を身に付けさせる。 ・ 生徒の学習状況をよく把握し、毎日2時間以上の家庭学習を習慣づけさせる。 ・ 部活動に原則全員参加させ、心身の健康を増進するとともに、社会性を養成する。 ・ 体育祭、黎明祭等の学校行事を通じて、学年を越えた交流を図る。 ・ 進路ガイダンスを年3回以上実施し、生徒に自己理解を深めさせる。 ・ 外部講師による講演会を実施し、生徒に卒業後の進路について考えさせる。 ・ 総合学習の福祉体験や事前学習を通して、社会に対して目を向けさせ、自己の適性や進路について考えさせる。
高 校 二 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中堅学年としてふさわしい基本的な生活習慣および学習習慣を維持させる。 ・ 進路指導を充実させ、生徒に具体的な目標を持たせるとともに、その達成に向け行動を促す。 ・ 総合学習の充実化により生徒の自己理解を促し、国際感覚を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通ルール・マナーを遵守させ、登下校時の無事故無違反を目指す。 ・ 家庭学習記録表を通し、担任より各生徒に対し、継続的な指導と支援を行う。 ・ 各教科担当者と連携し、週末課題・確認テストに主体性を持って取り組ませることで、基礎学力の定着を図る。 ・ 進路ガイダンスを年3回以上実施し、生徒に自己理解を深めさせる。 ・ 外部講師による講演会を年3回以上実施し、生徒に卒業後の進路、また、その実現に向けての方策を具体的に考えさせる。 ・ 大学進学を希望する生徒を対象にオープンキャンパスに参加させ、進路についての目標をより具体化させる。 ・ 就職を希望する生徒に、各種検定の受検を奨励し、支援する。 ・ 中国修学旅行に向けて、中国の文化や歴史、経済などについて学習させ、生徒が日本や日本文化について理解を深められるような活動を立案し、指導する。 ・ 学年討論会や、クラスの枠を越えた活動を充実させる、自分自身の意見や考えを持たせる習慣や他者を尊重する態度を身に付けさせる。 ・ 職場体験の事前学習や実習を通して自己の適性や進路について考えさせる。
高 校 三 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最高学年としてふさわしい基本的な生活習慣・態度を身に付けさせ、普段の学校生活や各種学校行事で下級生の模範となることを目指す。 ・ 学習習慣を確立し、進路実現に相応な学力を身に付けることを目指す。 ・ 個々の生徒の多様な進路希望が実現されるよう、進路指導の充実を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通ルールおよびマナーを遵守させ、登下校時の無事故無違反を目指す。 ・ 身だしなみを整え、大きな声での挨拶を励行する。また、面接試験に向け、礼儀作法や節度ある生活態度を身に付けさせる。 ・ 家庭学習記録表を書かせ、家庭学習の状況を理解する。国際環境コースは平日3時間以上、教養コースは1時間以上を目標とし、不足の生徒には学習を促す。進学希望者には、模擬試験や小論文模試を積極的に受験させ、準備と見直しにも十分な時間をかけて指導する。 ・ 就職希望者には、漢字テストや授業の予復習を通して基礎的学力を定着させる。 ・ 定期的に個人面談を実施することで、生徒の進路希望を把握し、必要なアドバイスを行うとともに、生徒に自ら考えさせ、進路希望の実現を目指す。 ・ 進学希望者に対して、進路ガイダンスや長期休業中および放課後の進学補習を実施することで、情報を与えたり、学力向上のサポートをする。 ・ 就職希望者に対して、面接指導や履歴書指導を行い、自信を持って面接試験に臨めるよう指導する。

分掌	具 体 的 目 標	具 体 的 方 策
学校運営	<ul style="list-style-type: none"> 各分掌や学年等の連携を密にし、効果的に運営されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 行事等で各分掌や学年等との連携を密にし、日程や会場等の連絡調整を着実にする。 運営委員会では各分掌の提案や学校課題を検討し、共通理解を図る。 自習時間を減らすため、各種行事等では特別時間割を作る。出張等については授業変更で対応する。 シラバスを作成し、公開する。 授業を公開し、職員、保護者が自由に参観できるようにする。
進	<ul style="list-style-type: none"> 多様な進路に対応できるよう、学習習慣の定着を図り、また進路実現に必要な表現力を養成する。 	<p>(高1、高2国環)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自宅学習記録表を活用し、家庭の学習状況把握に役立て、家庭学習は平日2時間以上、休日3時間以上を目標とする。 <p>(高2・3教養)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自宅学習記録表を活用し、家庭の学習状況把握に役立て、家庭学習は平日1時間以上、休日2時間以上を目標とする。 <p>(高3国環)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自宅学習記録表を活用し、家庭の学習状況把握に役立て、家庭学習は、平日3時間以上、休日5時間以上を目標とする。 <p>(高1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1泊2日の学習オリエンテーション学宿を行い、計画に基づいて学習する習慣を確立させる。 <p>(中学・高校)</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎週、週末課題を提示し、課題を提出させ、課題テストを実施する。8割に満たない生徒は再テストを行う。 <p>(高校)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年ごとに小論文模試を実施し、模試の前には事前指導を行う。
路	<ul style="list-style-type: none"> 大学・短大等の進学に対応できるよう、学習指導体制を確立し、生徒の学力を育成する。 	<p>(高校)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平日にハイレベル学習会を実施する。 <p>(高1・2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 長期休業中に進学補習を実施し、応用力の強化を図る。夏季休業中は10日間、冬季休業中は5日間実施する。 <p>(高3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 長期休業中や9月以降の放課後において、センター試験受験者を対象とした補習を行う。
指	<ul style="list-style-type: none"> 個々の生徒が自己の適性を理解し、適切かつ自主的に進路選択できるよう、早期の段階から職業に対する意識を高め、明確な目的意識を確立させる。 	<p>(中学・高校)</p> <ul style="list-style-type: none"> キャリア教育計画を作成し、その計画に基づいて、職員に4領域を意識した指導を行ってもらうよう呼びかける。 <p>(高校)</p> <ul style="list-style-type: none"> 進路学習会(説明会)を各学年ごとに年3回以上実施し、将来の進路についての関心を高め、また必要な知識を身に付けさせる。 <p>(高1・2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学での研究・教育についての理解を深めるために、大学の先生の講義を実施する。 <p>(高1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新入生意識啓発講演会を実施する。 <p>(高1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学進学希望者を対象に、新潟大学の学部・学科体験を実施する。
導	<ul style="list-style-type: none"> 各学年と連携を深め、生徒の進路実現を可能にする。 	<p>(中3、高1・2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学年と連携し、総合学習の時間を使って、高齢者福祉体験活動や職業体験活動を行う。 <p>(高校)</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝学活前の5分間を使って、各学年で朝学習の計画を立て、実施する。(中学、高校) 月1回定例会議を開き、指導計画を立案するとともに、各学年が円滑に計画を遂行できるように支援する。

分掌	具 体 的 目 標	具 体 的 方 策
生徒指導	・生徒が充実した学校生活を送れるように学校内の環境を整える。	・保健委員による清掃のチェックを行う。
	・生徒の心の問題を的確に把握し、すみやかに対応する。	・教育相談に関する研修会を年2回実施する。
	・節度ある生活態度の育成を図る。	・服装検査を年3回以上実施し、茶髪の生徒を0にする。 ・校門指導や学級指導によって遅刻者を前年度比10%減にする。
	・部活動と学習の両立を図る。	・部活動の継続率を高め、高校は活動者数を全体の80%以上とする。
	・生徒会行事の充実を図る。	・中高生徒会の連携を図り、より充実した徒会行事を実施する。
保健安全	・保健・安全に対する理解と意識を高め、安全教育の徹底を図る。	・交通違反及び交通事故0宣言を行い、交通講話や実技講習会を通し生徒の安全への意識を高め、交通ルールを遵守できるようにする。 ・風邪防止の指導を流行期前に徹底して行い、感染防止及び集団発生を防ぐ。
学習指導 授業改善	・学習習慣の確立により基礎学力の向上を図る。	・週末課題を提示し、翌週に課題テスト・補充学習を行う。(中・高) ・中学校授業担当者は毎日課題を提示し、また朝学習を行う。(中)
	・年度末の実力テストの結果が同団体の年度始めの結果を上回る。	・NRT(中)、外部実力テスト(高)の結果分析をもとに、授業改善を行い、特に研究(公開)授業週間には、改善すべき項目とそれに対する学習課題及び活動を明らかにした授業を行う。 ・定期テストや外部実力テストを集計し、結果・分析を「黎明中だより」等で公開する。 ・各種検定(漢字、数学、英語)で各学年の基準級以上を所有する生徒の割合が増加させる。中1:5級 中2:4級 中3:3級
人権教育	・生徒の発達段階に応じ、教育活動全体を通じた人権教育を推進する。	・人権同和に関する各種研修への参加と職員への伝達講習を行う。 ・全学級での人権同和に関する授業を実施する。 ・外部講師を招いての生徒向け人権同和教育講演会を開催する。
情報教育	・県立阿賀黎明中学校・高等学校の情報を地域、保護者へ発信する。	・公式 Web ページの更新 ・携帯 Web ページの更新 ・年間アクセス数 10,000 カウントを目標とする。
	・校内ネットワークの保守整備に努め、生徒・教職員が快適な授業や業務を行えるようにする。	・教職員対象研修会の年1回実施
国際理解教育	・海外研修の実施とその事前指導を通して、国際理解教育を推進する。	・海外研修を本年度中に実施する。本年度中に実施できない場合は、来年度実施のための具体的な計画を生徒に示し、希望者を募る。 ・前年度の海外研修参加者の体験報告会を開き、具体的な研修内容を高校生および中学生に見せることで、次年度以降の研修の参加を呼びかける。 ・前年度の研修報告を PTA 総会時、もしくは学年 P T A 時に実施する。 ・該当学年との連携を図りアンケート等を実施する。
図書館	・図書館利用者数を増加させるため、読書環境や図書の充実を図る。	・図書館情報を発信し、魅力的な本や新着図書の紹介に努める。
P T A 活動	・P T A 活動の活性化を目指し、総会をはじめとする行事の内容の充実 及び P R に努め、保護者の参加率を高める。	・P T A 総会で進路指導部と連携し、保護者対象の講演会を実施する。 ・総会等行事の開催日程を地域 P T A や学校便りで早期に P R する。 ・学年保護者会、学級懇談会について、保護者の意見が反映されるような運営を工夫する。